

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成25年5月23日 (2013.5.23)

【公開番号】特開2011-221221(P2011-221221A)

【公開日】平成23年11月4日 (2011.11.4)

【年通号数】公開・登録公報2011-044

【出願番号】特願2010-89309(P2010-89309)

【国際特許分類】

G 0 9 G 5/00 (2006.01)

G 0 2 F 1/1333 (2006.01)

G 0 2 F 1/133 (2006.01)

G 0 2 F 1/13 (2006.01)

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/048 (2013.01)

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

H 0 4 M 1/02 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 G 5/00 5 1 0 H

G 0 2 F 1/1333

G 0 2 F 1/133 5 3 0

G 0 2 F 1/13 5 0 5

G 0 9 G 5/00 5 5 0 C

G 0 9 G 5/00 5 3 0 H

G 0 9 F 9/00 3 6 6 A

G 0 9 F 9/00 3 1 2

G 0 6 F 3/048 6 5 6 A

H 0 4 M 1/00 R

G 0 9 F 9/00 3 6 6 G

H 0 4 M 1/02 C

【手続補正書】

【提出日】平成25年4月4日 (2013.4.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表示手段を備える第 1 の筐体と、

操作手段を備える第 2 の筐体と、

前記第 1 の筐体と前記第 2 の筐体とを連結し、前記第 1 の筐体と前記第 2 の筐体とを複数の異なる位置関係とすることが可能な連結部と、

前記位置関係を検出する検出手段と、

前記検出手段によって検出した前記第 1 の筐体と前記第 2 の筐体との位置関係に基づいて、該位置関係における前記操作手段の機能と位置を示す表示アイテムを、前記表示手段のうち、前記操作手段の位置に対応する位置に表示するように制御する表示制御手段とを有することを特徴とする表示装置。

【請求項 2】

前記検出手段が、前記操作手段が露出した状態で前記第2の筐体が前記第1の筐体へ置かれたことを検出したことに応じて、前記表示制御手段は前記操作手段の機能と位置を示す表示アイテムの表示形態を前記第2の筐体の置かれた状態を示す第1の表示形態に変更することを特徴とする、請求項1に記載の表示装置。

【請求項3】

前記操作手段が露出した状態で前記第2の筐体が前記第1の筐体へ置かれた状態は、前記操作手段の配置されている面と前記表示手段の表示面が平行ではない位置関係であり、

前記第1の表示形態は、前記操作手段の奥行き方向の位置関係に基づく遠近法を用いた斜視図であることを特徴とする請求項2に記載の表示装置。

【請求項4】

前記検出手段が、前記操作手段が前記第1の筐体に対面した状態で前記第2の筐体が前記第1の筐体へ置かれたことを検出した場合は、前記表示制御手段は、前記第1の表示形態での表示をしないことを特徴とする請求項3に記載の表示装置。

【請求項5】

前記表示制御手段が、前記第1の表示形態で前記表示アイテムを前記表示手段に表示させているときに前記操作手段が操作されたことに応じて、前記表示制御手段は前記第1の表示形態を前記検出手段によって検出された前記第1の筐体と前記第2の筐体の位置関係に基づく第2の表示形態に変更することを特徴とする請求項2乃至4の何れか1項に記載の表示装置。

【請求項6】

前記操作手段としての、タッチ操作可能なボタンアイコンが配置されるタッチパネルへのタッチが検出されると、前記表示制御手段は、該タッチパネルがタッチされたことを示す情報を、該タッチが検出された位置に対応する前記表示手段における位置に表示させることを特徴とする、請求項1乃至5の何れか1項に記載の表示装置。

【請求項7】

前記第1の筐体は、撮像手段と、接眼部を介して前記表示手段を視認可能なファインダーとを有し、

前記第2の筐体は、前記撮像手段で撮像された画像を表示可能な、前記表示手段とは異なる第2の表示手段を有することを特徴とする請求項1乃至6の何れか1項に記載の表示装置。

【請求項8】

前記表示手段への表示が行われていない場合は、前記表示制御手段は前記操作手段の機能と位置を示す前記表示アイテムを前記第2の表示手段に表示させ、前記表示手段への表示が行われている場合は、前記表示手段の表示形態とは異なる表示形態で、前記操作手段の機能と位置を示す前記表示アイテムを前記第2の表示手段に表示させることを特徴とする請求項7に記載の表示装置。

【請求項9】

前記第2の表示手段が前記表示手段とは異なる表示形態で前記操作手段の機能と位置を示す前記表示アイテムを表示しているときに前記操作手段が操作されたことに応じて、前記表示制御手段は、前記表示手段および前記第2の表示手段に、前記操作手段の機能と位置を示す前記表示アイテムを同じ表示形態で表示することを特徴とする請求項8に記載の表示装置。

【請求項10】

表示手段を備える第1の筐体と、操作手段を備える第2の筐体と、前記第1の筐体と前記第2の筐体とを連結し、前記第1の筐体と前記第2の筐体とを複数の異なる位置関係とすることが可能な連結部と、前記位置関係を検出する検出手段とを有する表示装置の制御方法であって、

前記検出手段によって検出した前記第1の筐体と前記第2の筐体との位置関係に基づいて、該位置関係における前記操作手段の機能と位置を示す表示アイテムを、前記表示手段のうち、前記操作手段の位置に対応する位置に表示するように制御する表示制御ステップ

を有することを特徴とする表示装置の制御方法。

【請求項 1 1】

コンピュータを、請求項 1 乃至 9 のいずれか 1 項に記載された表示装置の各手段として機能させるためのプログラム。

【請求項 1 2】

コンピュータを、請求項 1 乃至 9 のいずれか 1 項に記載された表示装置の各手段として機能させるためのプログラムを記憶したコンピュータが読み取り可能な記録媒体。